



ヒューマンコミュニケーショングループ
Human Communication Group
ニュースレター
2004 年度 No.2
URL: <http://www.ieice.org/hcg/jpn/>

Contents

- ・ FIT2004 WIT 特別企画報告
- ・ 研究会活動報告 (WIT, MVE, siLE, WI2)
- ・ 第1回デジタルコンテンツシンポジウム参加案内
- ・ 研究会・関連行事カレンダー

FIT2004 WIT 特別企画報告

岡本 明 (筑波技術短期大学)

福祉情報工学研究会 (WIT) では、9 月に同志社大学にて行なわれた FIT2004 で「誰にでも参加できる学会を目指した情報保障のあり方について」という特別企画を行ないました。以下、この特別企画の報告を致します。

日時：2004 年 9 月 8 日 (水) 14:30~18:00
場所：同志社大学京田辺キャンパス
テーマ：「誰にでも参加できる学会を目指した情報保障のあり方について」

1. 新しい情報補償機器によるデモ展示と講演

デモ講演 1「音声同時字幕システム」服部裕之 (ピー・ユー・ジー)

デモ講演 2「遠隔地情報支援システムの現状と課題」内藤一郎 (筑波技短大)

デモ講演 3「虹の架け橋「ユビツキ」」横田和博 (指つき言語普及協会)

デモ講演 4「音声自動認識ソフトを利用した盲聾者のための自動情報保障システムの可能性」朝尾伴啓 (アスク研)

デモ講演 5「プレゼンテーション環境の工夫による手頃な情報保障方式の検討」嵯川友宏 (静岡大)

デモ講演 6「当日使用するその他情報補償機器の紹介」岡田伸一 (障害者職業総セ)

2. 講演「海外の学会・大学における情報保障」 渡辺哲也 (国立特殊教育総研)

3. パネル討論「保障を受ける立場からの要望」 司会：市川薫 (千葉大学)

パネリスト：井上正之 (NTT)、長谷川洋 (筑波技短大)、福井哲也 (日本ライトハウス)、三宅洋信 (「見やすさ」とデザインを考える会)、門川紳一郎 (視聴覚二重障害者福祉センターすまいる)

この企画は、学会の今年度の活性化基金を得て HCG に設立された「情報保障 WG (英文名

称 Academic Meeting Accessibility Initiative: AMAI)」の活動の中間報告を兼ねて、各種新技術の紹介デモ講演やパネルディスカッションを行なったものです。WIT はこの WG の中心として活動し、この活動にかなりのパワーを注ぎ、主催する研究会等でいろいろな情報保障の試行を行なっています。

1. 「新しい情報補償機器によるデモ展示と講演」では、情報保障を新しい技術を使って行なうシステムの紹介を行ないました。デモ講演 1「音声同時字幕システム」はネットワークでつないだ札幌のスタジオで音声認識を行うというシステムのトライでしたが、折からの台風の影響で札幌が前面停電してしまい、デモが不可能というハプニングに見舞われました。いかにハイテクといえども大自然の脅威には勝てないという、人間の力の限界を思い知らされたものでした。その他の紹介は、聴覚障害、視覚障害、聴覚・視覚重複障害 (盲ろう) への情報保障のシステムで、これらは順調に行われました。

2. 講演「海外の学会・大学における情報保障」は米国留学から帰国したばかりの渡辺哲也氏 (WIT 幹事) の海外状況の報告で、日本は学会・大学の情報保障について海外に学ぶところが多いと感じられました。

3. パネル討論「保障を受ける立場からの要望」では、聴覚障害、視覚障害、聴覚・視覚重複障害 (盲ろう) の当事者の方々からの要望事項を直接聞くことができました。ここでは障害のない人には気付かないニーズが多くあることが示され、今後も当事者の方々への参加を得て研究開発を進める大切さが再認識されました。

特別企画に当たっては、事前にそれぞれの障害の当事者の方々に評価者としての参加をお願いし、この企画における情報保障の評価をしていただきました。全体の参加者は約 80 人で、悪天候の影響もありますが期待していたよりちょっと少なく、残念でした。事前の広報が不足していたことも反省事項です。

この特別企画での情報保障の試行結果も含めて、AMAI 活動の成果は 3 月の HCG シンポ他で報告する予定です。

研究会の活動報告

①福祉情報工学研究会(WIT)

専門委員長 岡本 明 (筑波技術短期大学)

今年度福祉情報工学研究会(WIT)はこれまでに3回の研究会を開き、9月のFIT2004では特別企画を行ないました(前項参照)。これまでに開催した研究会等は下記の通りです。今年度はあと2回の研究会とHCGシンポジウムでの特別企画(情報保障WGの総まとめ報告)を計画しています。これらの研究会ではすべて聴覚障害、視覚障害のある方の参加を促進するために、各種の情報保障を行なっています。今年度、とくに共催を積極的に行うという方針を立てたわけではありませんが、結果的にすべての研究会が他研究会との共催となり、他研究会との良い交流ができました。下記の内、WITへの申し込みは53件です。

- 第1回研究会(PRMU(パターン認識・メディア理解)、MI(医用画像)と共催)
2004年5月27日(木)、28日(金)
開催場所:名古屋大学
テーマ:福祉・医療のためのパターン認識・メディア理解
発表件数:27日11件、28日16件
参加者:70人
- 第2回研究会(NLC(言語理解とコミュニケーション)と共催)
2004年7月29日(木)
開催場所:機械振興会館
テーマ:福祉と言語処理/一般
発表件数:10件
参加者:55人
- 第3回研究会(SPと共催)
2004年10月28日(木)、29日(金)
開催場所:工学院大学
テーマ:福祉と音声処理
発表件数:28日10件、29日5件
参加者:85人

②マルチメディア・仮想環境基礎研究会(MVE)

専門委員長 美濃 導彦 (京都大学)

今年度のマルチメディア・仮想環境基礎研究会は、6月、7月、10月、12月、1月と5回実施しました。MVE研究会は、例年、本学会の他研究会および他学会との積極的な共催を行って来ています。

6月の研究会では、ヒューマンインタフェース学会、映像情報メディア学会、日本バーチャルリアリティ学会と共催し、本研究会の重要テーマである「人工現実感」について理解を深めました。この分野は、情報系だけでなく、機械系、認知系などさまざまな観点から研究ができる複合領域であり、発表内容、討論ともに興味深い内容でした。

7月には、恒例となっているIE研究会およびPRMU研究会との共催でしたが、画像分野の大きなイベントであるMIRUと日程が近いこともあって、発表件数が例年に比べて極端に少ないという問題が出ました。それでも、画像認識に関して興味深い議論ができたと思っています。来年度から2年に1回の開催であったMIRUが毎年開催されるようになりますので、予め日程などを調整して、バッティングすることの無いように計画を立てていきます。

10月の研究会は、VR学会エンターテインメント研究会との共催で、中京大学にて開催しました。発表件数はそれほど多くなかったのですが、愛知万博のグラフィックスシミュレーションなどホットな招待講演を企画し、参加者から好評を頂きました。

12月は、種子島宇宙センターで単独開催でした。ロケット開発におけるVR技術の活用に関して、宇宙センターの長友所長に招待講演をお願いしました。VRなどMVE研究会で議論していることが、ロケットの開発に大きな役割を果たしていることが実感できて、大変有意義な研究会となりました。

1月の研究会はCQ研究会と共催して名古屋工業大学で開催しました。触覚研究の最前線の話が、二人の招待講演で語られ、多くの人が感銘を受けました。触覚がVRの中で、注目を集めるのもそう遠くないという強い印象を受けました。

今年度の大きな改革は、研究発表をする価値のある研究会にしようということです。そのために、研究専門委員会を毎回開催してその方策を議論すると同時に、出席して頂いた専門委員の方々に研究会での積極的な議論をお願いしております。似たような分野での研究会が多く存在する中、MVE研究会で発表することの利点をどう出していくか、およびMVE研究会が研究内容としてどのような分野、どのような研究を推進していくのか、という戦略を明確にして、発表者が満足できる研究会にしていきたいと考えています。

③手話情報学研究会(sILE)

専門委員長 神田 和幸 (中京大学)

手話情報学研究会は、第1期として1995年4月より電子情報通信学会情報・システムソサエティの教育工学研究会傘下の第3種研究会(期間2年間)として発足し、その後、第2期として1997年4月より本ヒューマン・コミュニケーション・グループ傘下の第3種研究会に移行しました。本年度は時限の最終年度としてまとめに入っています。

最終年度ワーキンググループでは、これまでの解析ツールを活用した例文映像データからのsIGNDEX抽出および解析作業をまとめており、下記のアドレスでご覧いただけます。

<http://www.ns.kogakuin.ac.jp/~wwc1015/sig-sile/>

このHPはアクセシビリティ指針 JIS X8341-3 ウェブコンテンツを考慮して作られています。

まだ完全とはいえませんが、順次グレードアップいたします。

本年度の活動ではsIGNDEXの電子化辞書をネット上で公開拡張する計画をたて、現在、辞書項目作成を作業中です。この作業はsILEとしては本年度で終了しますが、研究ワーキンググループとして継続することになっています。

本年度はまとめの年度なので目立った活動もなく、特に研究会を開催していません。

④Webインテリジェンスとインタラクション研究会(WI2)

専門委員長 土方 嘉徳 (大阪大学)

2004年7月1日、第2種研究会としてWebインテリジェンスとインタラクション研究会(SIG-WI2)が設立されました。Web関連技術の研究者は、国内外ともに非常に多くなっていると言えます。国際レベルで見ると、ACMにはSIG-WEBというWeb関連技術に関する研究会があり、WWW Conference や ACM Hypertext など、レベルの高い国際会議が毎年開催されております。ここで発表される研究の中には、世界のWebの標準技術を牽引するようなものも含まれ、研究者にとっては互いに切磋琢磨する絶好の機会になっています。しかし、国内に目を向けると、Webを専門テーマとして扱う研究会、あるいはWeb技術全般を包含する研究会はありませんでした。本研究会はWeb上



の人間の知的活動を支援する技術全般を対象とするもので、その意味で日本で初めてのWebに関する研究会と言えます。

現在のWebは情報検索のみならず、一種のネットワークOSとしての機能も果たすようになり、またコミュニティ形成のためのプラットフォームにもなりつつあり、人もデータもコミュニケーションも複雑化していると言えます。本研究会は、人工知能、データベース、ヒューマンインタフェース、言語処理などの分野の研究者が、それらの分野の枠を越え、このような複雑化したWebにおける人間の知的活動支援に関する技術を開発することを目的としております。

WI2最初の活動としては、2004年11月26日(金)に日本科学未来館で行われたDBWeb2004において、「Webインテリジェンスとインタラクション」という特別セッションを設け、WI2の委員3名が以下のような招待講演を行いました。

- ・「Webインテリジェンスとインタラクション」(大阪大学 土方嘉徳)
- ・「インターネットユーザのための意思決定支援DSIU」(フジモトリサーチパーク 藤本和則)
- ・「セマンティックWebとインタラクション」(NTTコミュニケーション科学研究所 平松薫)

Webの生データから意思決定するための技術や、流行のセマンティックWebにおけるインタラクションに関する話を行い、分野としての可能性について活発に議論されました。第1回の研究会は、2月5日(土)に都立科学技術大学にて行われ、さらに第2回研究会を3月24日(木)、25日(金)に大阪大学にてHCGシンポジウムにおいて行われる予定です。

ヒューマンコミュニケーショングループ研究会・関連行事カレンダー

詳しくは、HCG ホームページ <http://www.ieice.org/hcg/jpn/> をご覧ください。

ヒューマンコミュニケーション グループ (HCG) シンポジウム 開催案内

電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) では、恒例となりましたグループシンポジウムを開催致します。シンポジウムは、HCG 傘下の4研究会と第2種研究会「Web インテリジェンスとインタラクション」が同時開催の形で行われます。大阪大学での本会総合大会と重なるように時期を設定し、会場も総合大会と同一の阪大内に設けております。奮ってご参加下さい。

なお、チュートリアル「マッシブセンシング：大規模センサ群の人間社会への展開」と講演／パネルディスカッション「誰でも参加できる学会を目指して：情報保障ワーキンググループの活動報告」の二つの企画が本会総合大会での特別企画として行われます。

【期日】2005年3月24日(水)～25日(金)

【会場】大阪大学 豊中キャンパス

【備考】総合大会は大阪大学 豊中キャンパスにて3月21日(月)～24日(木)に開催

◎チュートリアル

22日 13:00～16:00

「大規模センサ群の人間社会への展開」

◎懇親昼食会

24日 12:00～13:30 (待兼山会館「つどい」)
ヒューマンコミュニケーション賞の贈呈式も
行ないます。

◎MVE 研究会

24日 13:30～17:45 (基礎工学部 B棟 302号室)

25日 10:00～12:00 (基礎工学部 B棟 302号室)

◎WIT 研究会 (24日午後は総合大会 WIT 特別企画)

24日 8:45～17:30 (基礎工学部 シグマホール)

25日 8:45～16:45 (基礎工学部 B棟 304号室)

◎HCS 研究会

24日 10:30～17:45 (基礎工学部 B棟 308号室)

25日 8:45～17:45 (基礎工学部 B棟 308号室)

◎HIP 研究会

24日 8:45～12:00 (基礎工学部 B棟 402号室)

25日 8:45～17:15 (基礎工学部 B棟 402号室)

◎WI2 研究会

24日 10:30～17:15 (基礎工学部 B棟 403号室)

25日 10:30～15:00 (基礎工学部 B棟 403号室)

第1回デジタルコンテンツシンポジウム (デジタルコンテンツ関係学会連合大会) 参加案内

【期日】2005年5月25日(水)～27日(金)

【場所】科学技術館 (東京・北の丸公園内)

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1

<http://www.jsf.or.jp/>

【題目】コンテンツ制作を支える新技術及びデジタルコンテンツ関係全般：CG・映像表現、制作支援技術、デジタルアーカイブ、エンターテイメント・インタラクション、品質評価、視覚、感性、映像技術論、デジタルシネマ等

【併催】「映画テレビ技術 2005」於 科学技術館
2004年の情報は <http://www.jma.or.jp/dp/> を参照

【問合せ先】映像情報メディア学会事務局大会担当

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館209号室

TEL.03-3432-4677 FAX.03-3432-4675

E-mail: gyoji@ite.or.jp <http://www.ite.or.jp>

— 2005年4月 —

★ACM CHI 2005

【期日】2005年4月2日(土)～7日(木)

【会場】米国 ポートランド

【HP】<http://www.chi2005.org>

— 2005年5月 —

★2005 ICME International Conference on
Complex Medical Engineering – CME 2005

【期日】2005年5月15日(日)～18日(水)

【会場】かがわ国際会議場

【備考】HCG は協賛

★福祉情報工学(WIT)研究会

【期日】2005年5月19日(木)、20日(金)

【会場】屋久島環境文化村センター

【題目】視覚障害／聴覚障害／一般 (予定)

— 2005年7月 —

★福祉情報工学(WIT)研究会

【期日】2005年7月14日(木)、15日(金)

【会場】東北大学青葉記念会館

— 2005年9月 —

★FIT 2005

【日時】2005年9月7日(水)～9日(金)

【会場】中央大学後楽園キャンパス